

学校だより

明治3年3月3日創立

立川市立第一小学校

校長 田中 光晴



〈令和6年9月2日発行〉

【学校教育目標】

- 自分で考え 行動する子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 体をきたえ 元気な子

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号

TEL 042-523-4428

042-522-2114 (あおぞら学級)

FAX 042-529-0840

URL <https://www.tachikawa-edu.jp/es01/>



コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

— 第2学期がスタートしました —

校長 田中光晴

長かった夏休みが終わり、学校には再び夏の思い出をたくさん抱えた元気な子供たちの姿が戻ってきました。夏休み中、子供たちは、普段の学校生活ではできない貴重な体験や家族とのふれ合い、親戚との交流、地域諸団体の各種地域行事への参加等々、思い出多き充実した日々を過ごしたことと思います。休み明けの子供たちの少し遅くなった姿を目にし、改めてこの夏休み期間の子供たちの成長を感じています。休み中のご家庭や地域の皆様の子供たちへの見守りに



夏季休業中の教員研修の様子

対し感謝申し上げます。また、1学期末の個人面談につきましては、猛暑ご多用の中、お時間を作っていただきありがとうございました。限られた時間の中ではありましたが、直接保護者の方とお子様の成長について話し合うことができ、今後の指導に活かすことができる有意義な機会とさせていただきました。

さて、4月の年度初めの保護者会でもお知らせしました、子供たちの非認知能力を測定するアンケート調査を第1学期の最終週に全校で行いました。この調査は、リーフラス(株)の「非認知能力測定システムみらぼ」を本校用にアレンジしたもので、本年度本校が子供たちに育てていきたい、“自己理解”“他者理解”を核とした4つの力“主体性”“協調性”“向上心”“粘り強さ”の非認知能力について、質問紙調査による測定法により実施しました。今後、子供たち一人一人に自己分析結果を示しながら、より深い自己理解に基づいた子供たち自身の学習や生活への向き合い方を考える機会にしていきます。そしてまた、我々教師にとっては、より深い児童理解に基づいた日常指導の充実に活かしていきたいと考えています。さらに本年度は、本調査をあと2回行う予定です。分析結果を踏まえた指導の工夫と、それに伴った子供たちの行動変容や学習・生活に及ぼす影響等についても効果検証を図っていきます。

ところで、今年の夏の話は何と言っても、7月26日から8月11日の日程で行われた第33回夏季五輪パリ大会でしょう。各選手たちは、国を代表して個人として、チームとして、より良い結果を残すという自己実現に向け、最大限の実力を発揮できるよう、試合当日の競技に集中していました。どんなに劣勢であっても最後まで諦めず、自分がしてきた努力を信じ全力を尽くす選手たちの姿がそこにはありました。その真剣な姿勢の原動力は、自己の成績へのこだわりだけではなく、自分を推した自国の期待、チームの仲間や練習過程において関わった全ての人の期待に応えたい、との想いに立ったものであったと思います。人は、自分の為だけではなく、他者の為や他者の期待を背負った時にこそ、自己の能力をより発揮できるようになり、そこで得た結果はより大きな感動に繋がっていくのだろうと感じました。

スポーツの世界でよく聞く言葉に“心・技・体”があります。我々学校教育が育成を目指す“知・徳・体”と非常に良く似ている言葉です。学校は、これからも子供たちの“知・徳・体”を一体的に育てていきます。